

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	肝癌抑制タンパク質AIMの活性化機構解明とそのNASH肝癌に対する臨床応用
研究代表者	宮崎 徹（東京大学・大学院医学系研究科・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者のAIM（apoptosis inhibitor of macrophage：肝癌抑制タンパク質）に関する研究業績は、オリジナリティが高く国際的にも高い評価を受けており、今後、炎症、腫瘍分野の基礎研究だけでなく、臨床医学への展開も期待される研究である。本研究ではAIMの活性化機構を明らかにし、NASH（nonalcoholic steatohepatitis：非アルコール性脂肪性肝炎）の診断、NASH肝癌治療への展開も目指しており、本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待できる。以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>